

【越谷市】 校務 DX 計画

越谷市では、平成19年度より教員1人1台の校務用パソコンを配備し、同時にグループウェアを導入しました。さらに、平成30年度より校務支援システムを導入し、校務のデジタル化に先進的に取り組んできました。

また、令和4年度より保護者連絡アプリを導入し、学校と保護者間の連絡（保護者からの出欠連絡、学校からの配付文書等）をデジタル化しました。

アンケート調査については、児童生徒には授業支援アプリのアンケート機能、保護者には保護者連絡アプリをそれぞれ用いることで、配付・回収・集計にかかる負担軽減を図っています。

このように、各種デジタル化を進めているところですが、学校においては紙ベースの資料やアナログでの煩雑な手続きが多いことも事実です。また、学校間でデジタル化の進捗状況に格差が見られることも課題であると言えます。

そこで、「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえつつ、次のとおり取り組んでいきます。

1 GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト（学校設置者向け）に係る計画

	質問項目	対応状況
1	教育委員会主催の研修をハイブリッド（対面・オンライン）で実施している。	令和7年度より必要性があるものについて対応予定
2	教育委員会主催の研修で端末利用・持ち込みを基本とし、クラウドサービスを活用している。	令和7年度より段階的に対応予定
3	教育委員会主催の研修について、オンデマンド視聴を取り入れている。	アーカイブ化の必要性があるものについて、対応済み
4	教育委員会主催の研修について、資料をクラウド上にアップロードしいつでも参照できる環境にしている。	令和6年度より段階的に対応中
5	教育委員会主催の研修アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計している。	令和6年度より段階的に対応中
6	学校との各種事務手続きをペーパーレス化している。	段階的に対応中
7	教育委員会が学校に発信する通知や調査をクラウドサービス等を用いて共有、実施、集計している。	対応済み
8	教育委員会から学校及び教職員へのお知らせや相互の情報共有等をクラウドサービスを用いて行っている。	対応済み
9	教育委員会の指導主事に GIGA 端末を支給している。	対応済み
10	教育委員会に学校と同様のクラウド環境を整備している。	対応済み

11	教職員に外部ともやり取り可能な校務用の個人メールアドレスを附与している。	対応済み
12	教職員が校務用の端末を校外においてクラウドベースで利用できる環境を整えている。	令和10年度より 対応予定
13	クラウド環境を校外で使用した際の適切な勤怠管理・勤務時間管理の仕組みを整えている。	令和10年度より 対応予定
14	統合型校務支援システムを導入している。	対応済み
15	校務支援システムの導入又は次期更改において、ネットワーク統合と汎用のクラウドツールの活用を前提とした、パブリッククラウド上で運用できる次世代型校務支援システムの導入を検討している。	検討している
16	自治体の文書管理規程等で、教育に関わる公文書のデジタル化に関する規程を定めている。	令和9年度より 対応予定
17	学校や教職員からフィルタリングに関する要望があったときに柔軟に反映する仕組みや体制を整えている。	対応済み
18	自治体のセキュリティポリシーとは別に、教育情報セキュリティポリシーを教育委員会独自に策定している。	対応済み

- ・研修に関わる事項（1～5）は、可能なことから順次対応中です。
- ・令和10年度より次世代型校務支援システムの導入（現在利用中の校務支援システムの更改）のタイミングで、ゼロトラストや完全ペーパーレス化、ロケーションフリーを視野に入れた校務DXを推進する予定です。
- ・ペーパーレス化にあたり、各種文書や帳票・表簿のデジタル化に関する規程については、次世代型校務支援システム導入前年にあたる令和9年度に対応します。

2 GIGA スクール構想の下での校務DX化チェックリスト（学校向け）に係る計画

（KPI に記載されている内容に関わる項目を抜粋）

番号	質問項目	対応予定
1	児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付け、学校内で集計している。	現状：100% 対応：100%
3	学校から保護者へ発信するお便り・配布物等をクラウドサービスを用いて一斉配信している。	現状：68.8% 対応：100% R8
5	保護者への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計している。	現状：78.1% 対応：100% R8
10	児童生徒への各種連絡をクラウドサービスを用いて配信している。	現状：34.4% 対応：100% R8
11	児童生徒への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計している。	現状：78.2% 対応：100% R8
16	職員会議等における検討事項について、クラウドサービスを用いて事前に情報共有し、あらかじめ意見を求めている。	現状：65.6% 対応：100% R8
18	職員間の情報共有や連絡にクラウドサービスを取り入れている。	現状：62.5% 対応：100% R8
24	教職員への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計している。	現状：81.3% 対応：100% R8
29	FAXでのやり取りを原則廃止している。	現状：21.9% 対応：100% R7
30	保護者・外部とのやりとりで押印を原則廃止している。	現状：6.3% 対応：100% R7

- ・番号は、令和6年度「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」の質問番号を示しています。
- ・現状は、令和6年度「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」の自己点検結果のうち、「完全にしている」または「一部している（半分以上）」の回答の合計の数値です。
- ・上記の項目については、活用の進んでいない学校に対して要望に応じて校内研修等の支援を行います。ただし、クラウドサービスを用いないことについて、妥当性が認められる学校事情があるケースも想定されることから、学校に寄り添った支援に努めます。
- ・クラウドサービスの活用が進んでいない学校の実態を把握する。（R7）
- ・学校ごとのニーズに合わせた支援を実施する。（R8）
- ・FAX・押印が必要なやり取りについて、実態を把握する。（R6）
- ・FAX・押印でのやり取りを原則廃止するため、関係団体や事業者に働きかける。（R7）

3 文部科学省「教育 DX に係る当面の KPI」の達成に向けて

	項目	文科省 KPI	本市の目標
1	クラウド環境を活用した校務 DX を積極的に推進している学校	令和 8 年 100%	令和 8 年 100%
2	FAX でのやり取り・押印を原則廃止した学校	令和 7 年 100%	令和 7 年 100%
3	校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業を一掃した学校	令和 7 年 100%	達成済み
4	次世代の校務支援システムの導入に向けた検討を行う自治体	令和 8 年 100%	達成済み
5	次世代の校務支援システムを導入済みの自治体	令和 1 1 年 100%	令和 1 0 年 100%
6	教職員の働き方改革にも資するロケーションフリーでの校務処理を行っている自治体	令和 1 1 年 100%	令和 1 0 年 100%

- ・文部科学省の KPI と同時期もしくはそれ以前に達成できるように準備を進めます。
- ・クラウド環境の活用は、セキュリティ面とのバランスをとりながら、校務 DX の推進に寄与できるよう、学校を支援していきます。(1)
- ・災害等によりネットワークに不具合が生じた緊急時や、FAX や押印の方がインターネットを利用するよりも効率的な場合を除き、FAX 及び押印の原則廃止に向け、関係各所に対して、慣行の見直しを依頼する等、働きかけを行います。(2)
- ・新入生の名簿情報を校務支援システムに取り込む際は、CSV ファイルを一括で取り込むことができるようになっている他、不必要な手入力作業がないようになっています。今後は、さらに入力作業が効率化できるよう調査検討していきます。(3)
- ・次世代の校務支援システムについては、令和 1 0 年度に導入を予定しています。(4)(5)
- ・次世代の校務システム導入に合わせ、ゼロトラストを含めたネットワーク構成を見直し、教員が自宅等の学校外からでも校務支援システムにアクセスしロケーションフリーでの校務処理を行えるような環境を構築します。(6)
- ・中学校を中心に、採点作業が教員の業務を圧迫していることから、校務支援システムと連携可能なデジタル採点システムの導入に向け、先進自治体の取組みを参考としたり、パイロット校を設定し検証事業を行ったりすることで、採点業務の効率化について調査研究をします。

※ () 内の数字は、上の表の項目を示しています。

4 次世代の校務システム導入に向けて

(1) 次世代の校務システム導入により目指すもの

・教育の質の向上

①ダッシュボード機能等を活用したデータ連携

②コミュニケーションの効率化や負担軽減による働き方改革

(2) 次世代の校務システム導入に向けたスケジュール

令和7年度	望ましい校務の在り方に関する情報収集、検討
令和8年度	選定委員会の設置、予算要求
令和9年度	プロポーザル方式による選定、契約、システムの構築
令和10年度	本格稼働開始